

# 会創立30周年を迎えて

東京岩見沢会 会長 金子邦彦

東京岩見沢会は平成25年度をもちまして目下30周年を迎えることができました。記念すべき30周年の総会において第5代会長に選出されましたことは、私にとっては光栄なことであるとともに、新たな東京岩見沢会の発展に向けてその責任の大きさを感じております。

東京岩見沢会は、昭和60年に「同郷」という共通する基盤の上に立ちながら、会活動に積極的な意味を持たせ、その活動によって会員相互の親睦と、故郷岩見沢との交流を深め、さらに双方の繁栄に寄与することを目的とする」という趣旨で設立されました。

しかしながら昨今では、会員の高齢化による会員の減少傾向が続いております。平成24年度より関東地域に在住される方のみならず、岩見沢市と縁を持たれる方、関心を持たれる方すべての方のため東京岩見沢会として門戸を広げるとともに情報化時代に即した各

種媒体を活用し、デジタル世代の若年層や中年層への広報活動を行いました。その結果、少しづつではありますが会員数が増えて参りました。

会員の方々が少なくとも年に一度は積極的に参集する場として、総力を挙げて、進化させていきたいものと考えております。

また、岩見沢市との関わりをより一層深めるため、岩見沢市民大学への講師の派遣を行いました。今後とも岩見沢市との関わりをより一層深め、東京岩見沢会が意義ある会として発展していけるよう尽力する所存でございます。

最後になりますが、これまで多くの方々にご支援・ご協力頂いてきたおかげで今日の東京岩見沢会があります。その方々に対し改めて現当会役員一同と共に深く感謝申し上げます。次第でございます。

# 東京くっちゃん会の創立から今日まで

東京くっちゃん会 会長 横濱英紀

東京くっちゃん会を設立したいという、声が地元から聞こえてきたのが今から4年前に遡ります。

最初は、私が卒業した高校の関東支部の同窓会に出席された町会議員から、町長はじめ多くの方々が東京にふるさと会を作ること望まれているとうかがったからです。

その後、何回か準備のための会合を重ねましたが、我々だけでは役不足ではないかと思いい、もう一つの同窓会である高校の「白樺

会」の人たちに働きかけをしました。

それを境にして、一気に「東京くっちゃん会」の設立へと事が進んで行きました。平成23年11月26日に町長はじめ町会議員・民間の人たちと総勢26名の方々が上京され、式典に参加されました。会員も80数名の方々に参加いただき、総勢120名という方々の参加の下「東京くっちゃん会」が創立されました。

それから3年目を迎え、会の目的である、会員相互の親睦と友好を深め、情報の交換を

# あしよる（足寄）に思う

東京・あしよる会 会長 森 正司

足寄を離れてもう50年になります。毎年、「足寄と東京を結ぶふる里会」を開催（10月中旬・下旬、昨年で34回）を開催しています。今年6月に北海道旅行をした知人が、足寄の町に人が少ない事に驚いていました。私の母校・足寄高校も人口の減少とともに、生徒数も減り、1クラス精一杯で、この2、3年前から野球部も単独では参加できなくなっていました。野球部の先輩として残念でなりません。野球部の後輩には、あの鈴木宗男君、西武で活躍した三井浩二君も在籍した足寄高野球部でした。

足寄町の現状は役場・観光協会等より色々な情報を送ってもらいます。町では色々なイベントが開催されていて、池北線であった足寄駅も今は「道の駅」、阿寒

湖・オンネトー等への入り口にもあり、道内十傑に数えられる管内2位の44万人と安定した観光客の通行になってきているようです。また、「道立足寄・少年自然の家」の利用者が50万人を突破したとも聞きました。高速・道東道が札幌圏から足寄までつながり、観光客が増えているのであれば、今後、ラワンパーク・鹿肉等の特産品を十分に活かし、全道・全国に「あしよる」を発信して欲しいと思っております。

私たち東京の「あしよる会」のメンバーも産直フェア等にて大いに手助けし、ふる里・足寄に寄与していきたいと…。

## 十勝ワインは ブランデー製造50周年

### 十勝ブランデー 原酒

十勝の冷涼な自然の中で30数年眠り続けた高貴で繊細な香りが特徴のブランデー原酒で、ブドウ特有の果実の力強さを感じさせる至高の逸品です。

希望小売価格  
(180ml) 2,138円 税込(1,980円税抜)



池田町東京事務所

住所：東京都中央区日本橋小網町13-2 オーチャー小網町ビル7階  
電話：03-5643-8855